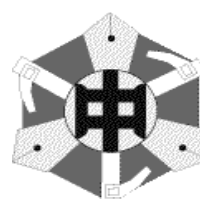


発行

1月 第36号

船浦中学校

校長 宮城裕子



# 新春書き初め大会

## 学校教育目標

- 自ら学び、考え、実践する生徒（知）
- 心豊かで、自他を尊び、思いやりのある生（徳）
- 健康で、根気強く、たくましい生徒（体）

船浦中学校共通実践！一人一人が意識しよう。

礼儀  
積極的ににかかわる力

挨拶・返事・後始末

元氣な挨拶は相手を  
思いやる優しさ物事をやり抜く力  
責任感

将来に必要な力を船中で身に付けよう！！

1月6日(金)三学期初日の5、6校時は毎年恒例の年始の書き初め大会が開催されました。講師の津嘉山佳子先生、恵先生、そして佳子先生の教え子でもある本校職員；潮音先生が加わり3名体制で書道の指導にあたりました。昨年末までに、すでに日本書道8段を取得した生徒や書道展で入選している生徒が多数いる中、限られた時間で納得のいく作品を仕上げるのは至難の業！参加者全員がものすごい集中力を発揮し、あっという間の2時間でした。短時間で書き上げたとは思えない力作ぞろいです。



## 作品展示準備中



1月11日～25日までの間、本校図書館に生徒作品を掲示してあります。←は生徒達が放課後の時間にボランティアで展示の準備を行ったときの様子です。部活動のお迎え等、ご来校の際は、図書館まで足を運んでご覧ください。生徒作品を鑑賞してのご感想を伝えてあげてください。

## 新春書き初め大会



## 新生徒会役員のお知らせ

令和5年度の舵取り役となる新生徒会執行部役員の当選証書授与式が6日に行われました。各種委員会の委員長が決まり次第、あらためて役員認証式を行います。当選者の顔ぶれは右⇒をご覧ください。当選おめでとう！そしてよろしくお願いします。

## 第67期 生徒会執行部役員決定

|      |       |
|------|-------|
| 生徒会長 | 下山 心夏 |
| 副会長  | 伊谷 和樹 |
| 副会長  | 池村 充喜 |
| 書記   | 青木 一崇 |
| 会計   | 徳岡 信馬 |



12月21日の第12回スピーチ集会のスピーチ原稿です。ご一読ください。

信馬さん

## スピーチ集会

陽大さん

## ・「サンタクロース」

突然ですが、サンタクロースは実在すると思う人、手を挙げてください。ありがとうございます。おろしてください。世の中のほとんどの人は子どもから大人になるにつれ、サンタクロースを信じる人は減ってくるという研究結果もでているほどサンタクロースを信じる人は少ないです。ですが、本当はサンタクロースはいます。だからといって、一般の人が想像するようなサンタクロースが一人でプレゼントを配ろうとすると、トナカイをマッハ千九百六十で走らせないといけないので違います。まず、世界には「グリーンランド国際サンタクロース協会」というものがあります。その協会に認められれば、「公認サンタクロース」となります。本物のサンタクロースになりたい人はそこに応募します。実はこの「公認サンタクロース」の資格を得るのは、簡単そうな気がしますが、とても難しいそうです。その証拠に世界には公認サンタクロースが百八十人しかいないそうです。世界の人口は約八十億なので、かなり少ないですよ。それでは、「公認サンタクロース」になるための前提条件を五つ紹介します。その一、結婚している事。その二、子どもがいる事。その三、サンタクロースとしての活動経験がある人。その四、装備込みの体重で百二十kg以上。その五、サンタクロースにふさわしい体型。この前提条件を合格したら、試験会場のデンマークまで行きます。なんと、移動の服装もサンタクロースの姿で移動しなければならないそうです。そして、試験についてです。その試験とはサンタクロースならではの体力測定です。まず、50mを全力で走、からのはいしごで煙突に登り、中に入って暖炉からはい出ます。そして、もみの木の下にプレゼントを置き、また、暖炉から入って煙突を中から登り、出たら国旗をふる。これを二分以内で行うそうです。しかし、これで合格ではありません。体力測定を二分以内で行えた数十人のうち、上位二名しか合格ではないそうです。次の二次試験は「サンタクロースの長老の前でデンマーク語か英語で自己紹介をする」だそうです。他にもサンタクロースの宣誓文を心をこめてHo, Ho, Ho, で朗読するなどたくさんあります。この全ての試験に合格した人が「公認サンタクロース」となるそうです。ちなみに、サンタクロースにかかる費用は自腹です。そして、その「公認サンタクロース」の仕事内容は病院等施設の訪問、世界サンタクロース会議の出席、クリスマスの啓発活動などだそうです。興味を持った方はぜひあきらめないでサンタクロースになってみてください。

## 「洗濯物干し」

僕の家での仕事は、洗たく物を干すことです。1日多い時には朝1回、夜2回、合計3回干します。家族も6名と多いので、洗う量、干す量はハンパないです。もちろん宿題もあるし、マンガも読みたいです。なので、僕は、シワになっていても、ズボンのすそが内側にまるまわっていても「どうせ乾くし、大丈夫でしょう。とスピード重視で干していました。すると、ある時、「お前、洗濯物の気持ちになって干してる？」とお母さんが聞いてきました。僕は最初意味が分かりませんでした。気になって聞いてみると「洗たく物もてきとうに干すより、ていねいに干したほうが気持ちがいいって考えたことある？」と言われました。でも、6人家族の洗たく物をていねいに、気持ちを込めてだなんてムリムリ、ただでさえ時間がないのにそんなことしてたら自分の好きなマンガが読めません。話が少し変わりますが、日本が熱狂したサッカーW杯準決勝、同点で迎えたPKまさかの日本が3本外してしまい敗北。僕は試合中人がいっぱいいる中で決めている日本なのになぜ、キーパーと一対一のPKで決められないのか疑問に思いもっと練習すればいいのに、と思っていました。中体連の新人戦、二中と同点、延長の末1点差で敗北。大中には4点差で敗北。僕のそしてチームの一番の反省は、誰にも邪魔されず、2回のチャンスがもらえるフリースローの決定力不足。サッカーのPKを見て、文句を言っていた自分が恥ずかしくなりました。チャンスを活かせなかったことがとても悔しかったです。部活でいつも打っているフリースローがなぜそんなに入らないのか、そう考えていると、お母さんのあの言葉を思い出しました。「てきとーにするより、ていねいにしたほうがいいんだよ」この言葉にはっとしました。部活でのフリースローはただ決めるシュートを打っていました。でも試合中にただ決めるシュートなんてありません。練習でも試合でも、これを決めれば勝てる、そんな気持ちでバスケットに取り組んで生きたいです。そして洗たく物干しでも、こうしたら気持ちがいいと自分も干される側になって、どんなにめんどうなことでもていねいに取り組んでいきたいです。

これから1年生の3学期の決意発表をします。まず二学期の反省点は、「休み時間と、授業中のけじめがつけきれていない、頑張れる人、頑張れない人の差がある、言葉遣が悪い」等の、問題点が挙げられました。3学期ではこの問題点を解決するために、休み時間と、授業のけじめを付け、集中して取り組めるように、1年生みんなで声をかけていきたいです。また、言葉遣い等にも気を配り、みんなが過ごしやすい雰囲気作りをしていきたいです。4月からは後輩が入学し、私達は先輩になります。後輩のお手本になれるように、今できることを、しっかり頑張っていきたいと思っています。 by 一学年級長 杏奈

「挨拶・返事・後始末」

三学期代表挨拶